Vol.99

まるとみ新聞

newspaper
'24 Dec.

発行所
北九州市若松区本町 1-1-33
丸富産業（若松区役所前）
TEL093-751-1081

すまい de スマイル
6年12月号

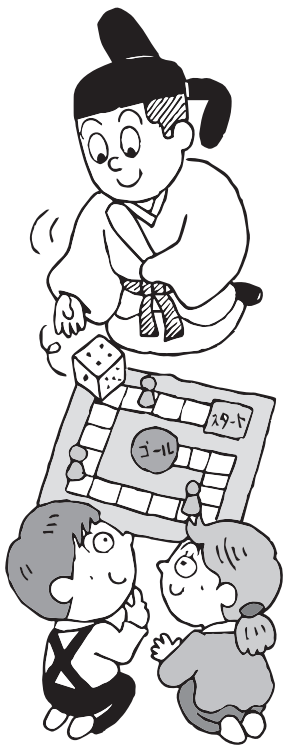
住まいの雑学 TRIVIA

サイコロの歴史

サイコロは今も昔も世界共通のアイテムなんだね！

サイコロの歴史は古い？

古くから日本のお正月などで遊ばれてきた「すごろく」。家族や親戚が集まってみんなでサイコロを振りながら遊んだ時代を懐かしく感じる方も多いのではないでしょうか。そんな「すごろく」に欠かせない「サイコロ」の歴史は非常に古く、紀元前のエジプトで発明されたといわれています。すでにこの時代のサイコロの目は表と裏の数の合計が「7」となる配置となっていました。その後ヨーロッパや中国にもサイコロ文化が広まり、日本には奈良時代にすごろくと共に中国から伝わったそうです。



サイコロ職人が存在した？

古代では賭博や娯楽にサイコロを使うだけでなく、占いや祭祀用に用いられていました。また、中世ヨーロッパやアジア各地に広がったサイコロは多種多様なゲームや占い、賭博道具など人々の身近なアイテムとして使用されるようになったと言われています。その頃には「賽磨（さいすり）」と呼ばれるサイコロを作る職人が存在し、自作したものを街で売り歩いていたそうです。

「骰子」は何と読む？

世界中で古くから用いられていたサイコロは各地で発掘されており、様々なかたちのサイコロが存在していたことが分かっています。木の実を割ったり塗り分けたりして表か裏かを見るものや、棒状の四角柱を転がすもの、三角錐、動物の距骨（きょこつ／後ろ足のかかとの骨）を用いたものなど。今も英語でサイコロのことを「bones」と言ったり、中国語や日本語で「骰子」（さいころ）と表記するのはこの距骨が語源といわれています。なお、日本最古のサイコロは福岡県の太宰府跡から出土しており、4枚の木片でそれぞれに1本から4本の線が刻まれていました。

平安時代から変わらぬ遊び

2008年に西鉄太宰府駅南側に位置する奥園遺跡から平安時代後期の石製サイコロ1個が出土し、話題となりました。この場所からはほかにもすごろくの駒や碁石、おはじきなどに使われたとみられる小石の加工品約50個が出土したということです。遥か昔の人々の暮らしに思いを馳せながら、今年のお正月は久しぶりにサイコロを振ってすごろくを楽しんでみるのもいいかもしれませんね。

トコロ変れば

世界のハッピーバースデー

■世界vs日本

来年の誕生日はどんな風に祝ってもらおうかな。

誕生日は家族や友人からお祝いされたり両親へ感謝を伝えたりする、誰にとっても大切な日ですが、日本で誕生日のお祝いをするようになったのは1950（昭和25）年からだそうです。なぜかというとそれ以前は「数え年」で年齢を数えており、正月を迎えるタイミングで一斉に歳を重ねていたので日本には誕生日を祝う習慣がありませんでした。昭和25年1月1日に「年齢のとなえ方に関する法律」が施行されて以降、満年齢での数え方が普及しました。

日本で誕生日といえば家族や友人、職場の仲間などがケーキを買って祝ってくれることが多いと思いますが、たとえばドイツ、イタリア、オランダ、アルゼンチンなど海外では誕生日を迎える本人がパーティーのホストとなり、家族や友人をもてなすそうです。また、ブラジルでは誕生日を迎える人にゲストが小麦粉や卵などを投げてお祝いをする習慣もあり、国によってお祝いの方法は様々です。

バースデーケーキの歴史は古代ギリシャ時代まで遡り、月の女神アルテミスの誕生日を祝うために丸いケーキにろうそくを立てて祭壇に供えたという記録が残っています。また15世紀のドイツでは、「キンダーフェスト」という子どもたちの誕生日会でケーキにろうそくを立てて子どもを悪霊から守る風習があり、現在の誕生日ケーキの原点ともいわれているそうです。

季節のお出かけ情報

2024.12月～2025.1月
北九州 | 山口 | 大分

KOKURA CHRISTMAS MARKET & CASTLE

本格的なクリスマスマーケットが北九州市に初上陸！紫川親水広場と船場広場で同時開催。街のクリスマスムードを盛り上げます。

期間：11.22（金）～12.25（水）
会場：北九州市 / 紫川親水広場、船場広場

苅田町イルミネーション

「『ぼくらの未来』～輝く70年、つなげよう未来への虹～」をテーマに苅田工業高校の生徒や18の企業、団体による地元愛あふれるオリジナルイルミネーションが、JR苅田駅周辺を暖かく彩ります。

期間：11.29（金）～2025.2.3（月）
会場：苅田町 / JR 苅田駅

2024 イルミネーション in コアやまくに

コアやまくにをイルミネーションで豪華に演出。屋外スケートリンクもオープン。12月22日はクリスマスシャボンも開催されます。幻想的なシャボン玉の世界で特別な時間をお楽しみください。

期間：12.1（日）～2025.3.2（日）
会場：中津市 / コアやまくに

秋芳洞 光響 FANTASY

日本最大級の鍾乳洞内を、通常時の白色とは異なるカラー照明と普段にはない音響で光と音の饗宴を幻想的に表現。照明と音響は、東京タワーや明石海峡大橋などの照明で著名な石井幹子さんが演出。普段見ることができない秋芳洞をご覧ください。

期間：12.30（月）～2025.1.3（金）
会場：美祢市 / 秋芳洞

鷹栖観音 鬼会

1300年余りの歴史を持つ伝統行事「鬼会」は、締め込み姿で約2m の松明を掲げて厳寒の駅館川を渡り、高さ約10m のドンドに火をつけた後、松明を打ち合う勇壮な“水と火の祭り”です。1年の無病息災と五穀豊穣を祈願します。

期間：2025.1.4（土）
会場：宇佐市 / 鷹栖観音堂周辺

琳派のやきもの 響きあう陶画の美

江戸時代中期を代表する京の陶工・尾形乾山。彼の興した乾山焼は、絵画的な意匠でうつわを飾る“琳派のやきもの”として日本の陶磁史に革命をもたらしました。乾山の系譜を彩る京焼のほか、やきものの美と呼応する絵画もご紹介します。

期間：2025.1.10（金）～3.23（日）
会場：北九州市 / 出光美術館

最新情報は各イベント、自治体のホームページ等にてご確認下さい。

戸畑側から渡船に乗る

すまいるライフ

おしえて仙人！

ラクらい楽ふ

どれも簡単なので、きょうから試してみよう！

◆工夫次第で電気代を節約

冬の時期は電気代やガス代など光熱費が一年で最も高くなる家庭が多く、家計を圧迫してしまいがちです。節約のために最新の省エネ家電に買い替えることもひとつの手段ですが、今ある家電の使い方を工夫する方法もあります。年末の大掃除と合わせてぜひ、実践してみませんか。

まず冷蔵庫は、背面や側面から放熱して内部を冷やすため背面のホコリやゴミ掃除が大切。冷蔵庫が放熱しやすいように壁から少し離すこともポイントです。冷蔵庫内は食材を詰めすぎず冷気の吹き出し口は塞がないこと。室温が下がる冬場は冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に下げるのも有効です。次は室内の暖房に欠かせないエアコンですが、扇風機やサーキュレーター、加湿器とあわせて使用することで部屋を効率よくあたためることができます。冷気は下に溜まりやすいのでエアコンの風向きを下にしたり、扇風機やサーキュレーターをエアコンから離れた場所で上向きに置き、天井付近の暖かい空気を循環させたりしましょう。また2週間に1回フィルター掃除をするとでエアコン（暖房）の消費電力を約6％カットできるそうです。最後に調理中の節約ポイント。根菜など火が通りにくい食材はレンジで「下加熱」してガス代の節約をしたり、電気ポットや電子レンジなどの家電製品を使用しないときにコンセントを抜くことで待機電力を節約したりできます。